## 吉野町消防団 教育訓練等を実施

5月22日(日)、吉野小学校で平成28年度吉野町消防団新入団員及び正副分団長訓練が開催され、今年度の新入団員19名と分団長、副分団長が参加しました。

この訓練は吉野消防署の教官の指導により消防団員の士気の高揚や消防技術の向上を目的に例年行われているもので、正副分団長は主に人員報告要領を、新入団員は礼式訓練に続きホース延長の仕方や撤収する際のホースの巻き取り方法等について指導を受け、迅速に実技訓練をこなしました。

新入団員は次の方々です。

（○数字は分団・敬称略）

［上市地区］
①辰己　恵右　③近藤　大貴
③山本　勇
④徳永　拓　④辰己　数人
⑥六雄　浄
［中荘地区］
①岡本　修一　①山下　眞弘
①小西　愛也
［国栖地区］
①西口　紘正
［中竜門地区］
①岡本　拓也　④小林　竜男
［龍門地区］
①山本　和毅　①堀岡　奨
①鍋谷　友志　①表谷　知哉
①松葉　勇也　②福田　尚弘
②新　博徳

## 県産材利用に向けた新たな試み 職業訓練生が吉野林業を見学

奈良県立高等技術専門校の家具工芸科では、吉野町と連携し吉野材を利用した家具製作等の訓練を昨年度より行っています。H26・27年の2ケ年度で、吉野町からの紹介で計5名の訓練生が町内木材関連企業等へ就職しました。

今年度は初の試みとして、樹木や木材に関係する建築科、造園技術科と合同で吉野の木の生育、製材の現場を見学する特別授業を5月20日に実施、訓練生及び指導員ら50名が参加しました。訓練生にその仕事の社会的意義を認識して頂き、就業意欲につなげていくことがその目的です。吉野町としてもこのような機会を提供する事で吉野材に関わる就業者を増やし、吉野材の新たな利用や活性化を目指しています。

訓練生たちは『吉野林業』といわれる伝統ある吉野材を育てる技術・製材・加工・販売等の仕事の現場を見て県産材やその利用についての知識を習得し、林業に対する仕事への理解を深めていました。

湯浅指導員は「県産材利用という言葉に今まで様々な回答（建築材・新建材・木質化等）がされてきました。どのように利用するのか、どうすれば売れるのか。私が今の立場で考えたのは、使う人を育てること、増やすこと。この見学授業に参加した訓練生たちの今後のリアクションが楽しみです。」と語ってくれました。

今回の取り組みは専門校・吉野町それぞれにとって大きな気づきのある有益な一日となったのではないでしょうか。今後も「人」と「木」と「場」の交流を継続して行えば、双方にとって確実な発展が起こることでしょう。

## 映画『サブイボマスク』公開記念 「立てろ！サブイボっ！」トークショー＆ミニライブin吉野町

6月8日吉野山ふるさとセンターで、映画「サブイボマスク」公開記念「立てろ！サブイボっ！」トークショー＆ミニライブが開催されました。

吉野町では、昨年度に吉野町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、「ひと」の創生こそが地方創生の基礎と考え、「ひと」が「しごと」を呼び、「まち」に活力を生み出す好循環の確立を目指して地方創生に向けた取組を積極的に推進しています。

6月11日から全国公開中の映画「サブイボマスク」は、〝地方創生〟という一つのテーマを持った作品であり、主演のミュージシャン、ファンキー加藤さんが演じる主人公の春雄が地方を活性化させるストーリーで、映画公開を記念して「立てろ！サブイボっ！」ツアーとして、町おこしライブを全国3か所で実施することとなりました。

吉野町でも映画のテーマに共感し、住んでいる皆様が歌で心をひとつにして真心、本気、元気、やる気、根気、勇気、熱気で共にまちづくりに取り組んでいく大切さを体感するために町おこしライブを実施することとなり、ファンキー加藤さんのライブとダンスロック・バンドＤＩＳＨ//のメンバーである小林龍一さんとのトークショーで会場は大いに盛り上がりました。

## 人権擁護委員の交代について

人権擁護委員は、地域の皆様から人権相談を受け、問題解決のお手伝いに応じるため、法務大臣から委嘱された方です。

7月1日付けで交代がありました。

新任の委員　昆布伴子（窪垣内）
退任の委員　松田典子（南国栖）